

立地企業の声

市内に立地されている企業に「瀬戸市に決めた理由」などについて伺いました。(市内進出年の降順に掲載)

朝日インテック株式会社

立地の決め手は、伝統工芸のまち 開発拠点と本社機能の融合を目指して、瀬戸から世界へ

資本金：62億7,025万円 従業員：単体681名、連結7,316名



当社は、血管治療用ガイドワイヤーをはじめとするカテーテル治療用製品の開発・製造・販売をしています。2018年12月に、瀬戸工場敷地内に研究開発の中核施設として「グローバル本社・R&Dセンター」を開設しました。名古屋市より本社機能を移転することで、開発機能との融合を図り、経営基盤の強化を図ってまいります。

全世界の患者のQOL (Quality of Life) を高めることを使命とする当社にとってものづくりの伝統と文化が息づく「瀬戸市」こそ事業の中枢にふさわしい場所と考えております。

代表取締役社長
宮田 昌彦 様



テクノエイト株式会社

立地の決め手は、交通アクセスの良さ アルミの総合メーカーとして軽量化に貢献

資本金：4億9,500万円 従業員：単体630名、連結980名



当社は、トヨタ自動車殿のTier1 (一次サプライヤー) 企業として「ジャストインタイム」に拘った生産方式に基づき、多種多様な自動車部品の製造をしています。2018年には、車両の軽量化ニーズの高まりに対応するため、アルミ専用工場を拡張しました。

自動車メーカーと共に成長する当社において「瀬戸市」は、住環境に優れていることのみならず高速道路のICが近く、名古屋市や豊田市へと短時間で繋がる最適な拠点であり、今後の自動車業界の変革に備え、人や物の移動も効率的かつ柔軟に対応できる大変便利な場所と捉えています。

その優位性を最大限に活用し、さらなる企業成長を図ってまいります。

代表取締役社長
武田 吉昭 様



杉山重工株式会社

立地の決め手は、協力企業の集積 「世の中に無い物を作り上げる」をモットーに、業界を牽引

資本金：2,000万円 従業員：60名



当社は、粉体技術において我が国トップクラスに位置する粉粒体プラントメーカーです。地域の中核企業として、平成29年12月には経済産業省の「地域未来牽引企業」、平成31年2月には「愛知ブランド企業」に選ばれました。

市内に集積している協力企業の存在や、従業員の7割以上が市内在住であることなどが、当社が立地を続ける理由になります。今後も地域に根差した企業として瀬戸の地でのさらなる成長を目指し、本社工場を拡張するなど、生産能力の強化に取り組んでまいります。

代表取締役
杉山 大介 様

